

駐在所だより

御坊警察署
 ☎23-0110
 高家駐在所 小倉 恒人
 比井駐在所 吉井 義昭

(お知らせ)
 Eメールによるご意見、ご感想、ご相談を受け付けています。
 和歌山県警のホームページは
<http://www.police.pref.wakayama.lg.jp>です。
 ご利用ください。



9月11日は「警察相談の日」
 警察では、全国統一の警察相談ダイヤル「#9110」にちなんで、毎年9月11日を警察相談の日と定めています。

詐欺です！

- キャッシュカードの暗証番号を教えて
 - 還付金・給付金がある
 - 有料サイト利用料金がある
 - 未納料金がある
- 特別定額給付金詐欺**
 役場職員などをかたり、「特別定額給付金の多重払いがあります」「返金してもらうために来ました」などと現金を要求してきます。

警察官・銀行員をかたる詐欺

- 犯人は
- ・「あなたの口座が詐欺に使われています」
 - ・「銀行のものが訪問するのでキャッシュカードをください」
 - ・「などと要求してきます。」

現金やキャッシュカードを渡してはいけません！

建物の防犯

忘れないで施錠！
 防犯は、犯罪を未然に防止するために重要です。
 空き巣に対しては、建物の二重ロックや防犯カメラの設置が効果的ですが、一番大切なことは、窓やドアの施錠を確実にすることです。
 この機会に、ご自宅の防犯について考えてみましょう。



☆台風が来る前に

1. 瓦やトタンが壊れたところがないか点検し、補強や修理をしましょう。
 2. 塀や庭木、アンテナなどが、風で倒れないように補強しましょう。
 3. 下水や側溝を点検し、排水をよくしておきましょう。
 4. 非常持出し品の点検、準備をしましょう。
- ☆**台風が近づいたら**
1. テレビ、スマホ等で最新の情報を入手しましょう。
 2. 停電に備え、懐中電灯、携帯ラジオなどを用意しましょう。
 3. 避難場所等の道順を確認しておきましょう。
 4. 今まで、災害が発生しなかった場所でも災害が発生する可能性があります。もう一度、周りを点検しましょう。



交通事故発生！

本年（6月末時点）日高町では、
 ● 人身事故4件 ● 物損事故52件
 の交通事故が発生しています。
 ドライバーのみなさんは、安全運転をお願いします。

違法薬物！

違法薬物は、幻聴や幻覚が現れて錯乱状態に陥り、凶悪事件に発展するなど、大変危険なものです。
 薬物に関する電話相談
 ☎ 073・425・4615

運転に不安を感じたらまず相談！

安全運転相談ダイヤル

シャープ ハレバレ
 # 8080

※相談受付は平日9：00～16：00

水害・土砂災害時の命を守る行動

避難情報の意味は理解できていますか？

洪水や土砂災害のリスクが高まった際は、町から避難情報を発令します。

避難情報が発令された場合は、非常事態です。

情報が発令された場合は、早め早めの命を守る適切な行動をとってください。

水害・土砂災害について、市町村が出す避難情報と、国や都道府県が出す防災気象情報を、5段階※1に整理しました。

<避難情報等>

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報 (市町村が発令)
警戒レベル4 全員避難	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示(緊急) (市町村が発令)
警戒レベル3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・ 高齢者等避難開始 (市町村が発令)
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発表)
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発表)

<防災気象情報>

【警戒レベル相当情報(例)】

警戒レベル5相当情報

氾濫発生情報
大雨特別警報 等

警戒レベル4相当情報

氾濫危険情報
土砂災害警戒情報 等

警戒レベル3相当情報

氾濫警戒情報
洪水警報 等

これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

(国土交通省、気象庁、都道府県が発表)

※1 各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

避難行動は「命を守る行動」

町が指定している避難場所(町HP: <http://www.town.wakayama-hidaka.lg.jp/docs/2014081900010/>)へ避難するほか、災害リスクの少ない親戚宅や友人宅へ避難させてもらうことも避難行動の一つです。

また、浸水や土砂の流入は1階ほど被害を受けやすいため、大雨が降り続けている時は、「2階に上がる」ことも命を守る行動です。外が危険な状況では無理に屋外に避難するのではなく、屋内の高いところに避難してください。

